

品番 69741

レーザーロボ LEXIA 51 グリーン 自動追尾回転台 受光器セット



レーザーロボ 墨出し器

LASER ROBO

LEXIA

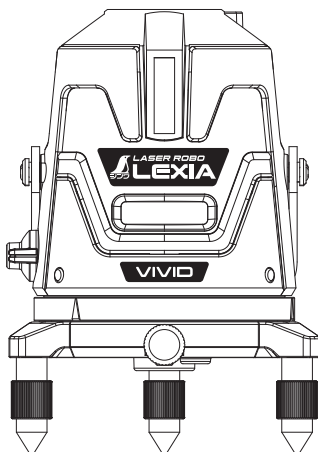
レクシア
シリーズ

取扱説明書

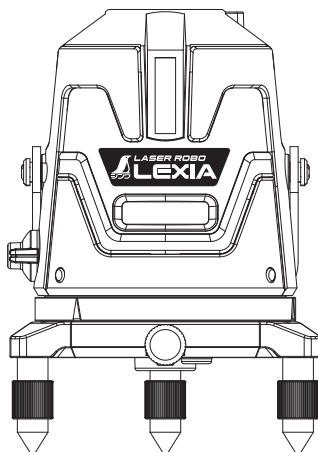
レーザーロボ LEXIA VIVID グリーン
(品番 70857)

レーザーロボ LEXIA グリーン
(品番 70841 / 70842 / 70843 / 70844 / 70845)

レーザーロボ LEXIA レッド
(品番 70931 / 70932 / 70933 / 70934 / 70935)



レーザーロボ LEXIA VIVID



レーザーロボ LEXIA

この取扱説明書は必ず保管してください。

目次

はじめに 用途 特長	p.2
警告 注意	p.3～5
各部の名称	p.6
付属品 別売品	p.7
ご使用の前に	p.8
ご使用の前に 使用方法	p.9
水平調整三脚アダプターの使い方	p.10
バッテリー残量警告機能 受光器対応 回転微調整機構	p.11
回転台の取り外し・取り付け方法	p.12
レーザー照射モード	p.13～17
レーザー照射モードの使用方法	p.18～20
使用前の点検(精度確認)	p.21～25
故障かな?と思ったら	p.26
仕様	p.27～30
修理およびメンテナンス	p.31

はじめに

シンワ「レーザーロボ LEXIA」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をお使いいただく前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書は読み終わった後も大切に保管してください。

本製品のユーザー登録をする場合は、製品梱包に同梱されている「保証規定（無償修理および盗難・火災補償）」をよくお読みのうえ、「保証書・ユーザー登録シート」にお買い上げ店名の記入があることを確認し、必要事項を記入して、シンワサービスセンターへFAXもしくはコピーを郵送してください。また、p.31の「レーザー・光学機器専用お問い合わせ先」のQRコードを読み取っていただくとWebでのご登録もできます。「保証規定（無償修理および盗難・火災補償）」と「保証書・ユーザー登録シート（お客様（控））」は大切に保管してください。ご不明な点がございましたら、シンワサービスセンターまでお問い合わせください。

■用途

- 建築現場、内装工事などの基準出しに。
- 1人作業や省力化に。

■特長

- レーザーラインの明るさを3段階（VIVIDは4段階）で切り替えることができます。強モードは明るい現場で見やすく、従来品に比べレッドレーザーは約2.5倍、グリーンレーザーは約2倍の明るさの高出力レーザーです。VIVIDモードは強モードの約3倍の明るさで照射できます（VIVIDのみ）。
- 弱モードは暗い現場でもレーザーラインがざらつかずに見やすく、電池が長持ちするので長時間の連続使用が可能です。
- 電源をOFFにした時の照射ラインが、次に電源をONにした時にそのまま照射されるラインメモリー機能付です。こまめに電源をOFFにしても、復帰時に照射ラインを切り替える必要がありません。^{※1}
- 専用のリチウムイオンバッテリーは、繰り返し充電でき、交換可能です。
- 回転台を取り外して、低い位置（高さ40mm）でのライン照射が可能です。
- 防塵・防水構造（保護等級IP54）のため、粉塵や水の飛沫による故障の心配がありません（USBケーブル接続時は防塵・防水性能が保証されません）。
- 付属の水平調整三脚アダプターを使用することで、三脚への取り付けが簡単にでき、三脚に取り付けた状態でも本体の水平出しが可能になります。
- ±3°まで傾きを自動補正します。
- 別売品の受光器を使用することで、屋外などのレーザーラインが見えにくい場所でもご使用いただけます。^{※2}
- 過剰な明るさのレーザー発光を抑える保護回路搭載で安心です。

※1 LEXIA VIVIDはVIVIDモード時のみラインメモリー機能が無効になります。VIVIDモードのまま電源スイッチを切り、再度電源を入れると中モード・横ラインのみで照射されます。

※2 ご使用になる作業環境や測定位置により正しく検知できないことがあります。p.5「受光器の注意」をご参照ください。

△ 警 告

レーザーラインが目に入ると視力低下・失明を起こす恐れがあります。

- 光学機器で直接レーザーラインを見ないでください。
- レーザーラインを直接のぞきこまないでください。
- レーザーラインを他の人に向けしないでください。
- レーザー光路は頭の高さを避けてください。
- レーザー光路に反射物を置かないでください。
- 測定場所に「レーザー使用中」の警告表示をしてください(VIVIDのみ)。

△ 注 意

保管・運搬時の注意

- 本製品の取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
- 本製品を持ち運ぶ時や使用後は、必ず電源をOFFにしてください。OFFにすることで自動補正機構が同時にロックされます。
- 使用後は水平調整脚をいっぱいまで締め込んでください。緩めたまま持ち運ぶと、脱落や紛失の恐れがあります。
- 落下などによる強い衝撃や振動を与えないでください。不具合の原因となります。
- 使用後は必ずアルミケースに入れてください。
- 汚れた場合は柔らかい布で拭いてください。シンナーなどの揮発油やアルコール類で拭かないでください。
- 次のような場所には保管しないでください。
 - 直射日光の当たる場所や高温(40℃以上)になる場所
 - 磁気を帯びた場所
 - 振動の多い場所
 - 子供の手の届く場所

使用上の注意

- 用途以外には使用しないでください。
- レーザーラインに並行して薄い光が出ることがありますが、特性上照射されるものであり、故障ではありません。
- 壁などに近付く際、レーザー照射口に衝撃を与えないよう注意してください。
- 本製品は保護等級IP54の防塵・防水性能を有していますが、レーザー照射口に水滴・ほこりなどの付着、または急な温度変化による結露があるとレーザーラインを正確に照射できなくなる場合があります。柔らかい布などできれいに拭き取り、本体を室温に馴染ませてから使用してください。
- 本製品は完全防水ではありません。故障の原因となるので水に浸かるような場所で使用しないでください。
- レーザー照射口に触れないでください。
- 直射日光の当たる場所や高温となる場所での長時間の使用は、レーザーの消費電力が過大となり、性能や寿命を著しく劣化させ、故障の原因となりますので使用しないでください。
- USBケーブル接続時は防塵・防水性能が保証されません。

△ 注 意

- USBケーブルを接続しない場合は必ずゴムキャップを閉めてください。
- 本体に回転台を取り付ける際は、回転台取り外しツマミをしっかり締め込んでください。緩めたまま持ち運ぶと、脱落や紛失の恐れがあります。
- 本体と回転台を取り外して使用する際は、砂やほこりが侵入しない所で使用してください。本体底部へ砂やほこりが侵入すると故障の原因となります。
- 電源スイッチはON/OFFまで確実に回してください。
- 三脚を使用の際はレーザーロボの取り付けを確実に行ってください。
- 三脚にレーザーロボを取り付けた状態でレーザーロボを持ち上げないでください。
- 三脚を使用の際は倒れないように置いてください。
- レーザーラインを照射しながら、急に回転させると点滅することがあります。
- レーザーラインの性質・危険性について十分理解したうえで使用してください。

着脱式リチウムイオンバッテリーの注意

- 連続使用時間や充電時間は使用環境や充電回数などで変動します。
- 充電しながらの使用は劣化を早める恐れがあります。
- 充電中バッテリーが熱くなることがありますので、注意してください。
- バッテリーには寿命があります。充電と使用を繰り返すうちに、一回の使用時間が徐々に短くなります。一回の使用時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われます。新しいリチウムイオンバッテリー(グリーン:80601、レッド:80600)と交換してください。
- 使用済のリチウムイオンバッテリーはリサイクルすることができます。廃棄の際は分解せずにリサイクル業者へお持ちいただくか、自治体の指示に従ってリサイクルにご協力いただきますようお願いいたします。
- 充電完了後は速やかに充電プラグを抜き、充電器をコンセントから外してください。
- 長期間使用しないまま保管すると自然放電で電池残量が減ることがあります。
- 外部接続端子やコネクタにほこりや汚れが付いている場合は、乾いた布などできれいに拭き取ってください。
- 防水仕様ではないので濡らさないでください。
- 本体に金属類を差し込まないでください。
- 指定用途以外の目的に使用をしないでください。
- 弊社は、本製品に関連して生じたお客様および第三者の結果的損害、付随的損害、逸失利益などの間接損害について、それらの予見または予見可能性の有無にかかわらず一切の責任を負いません。ただし、弊社に故意または重過失が存する場合またはお客様が消費者契約法上の消費者に該当する場合は、この限りではありません。本製品の使用に関し弊社が損害賠償責任を負う場合、本製品の代金相当額を限度額として賠償責任を負うものとします。



Li-ion

LEXIA VIVID グリーン



LEXIA グリーン



LEXIA レッド



△ 注 意

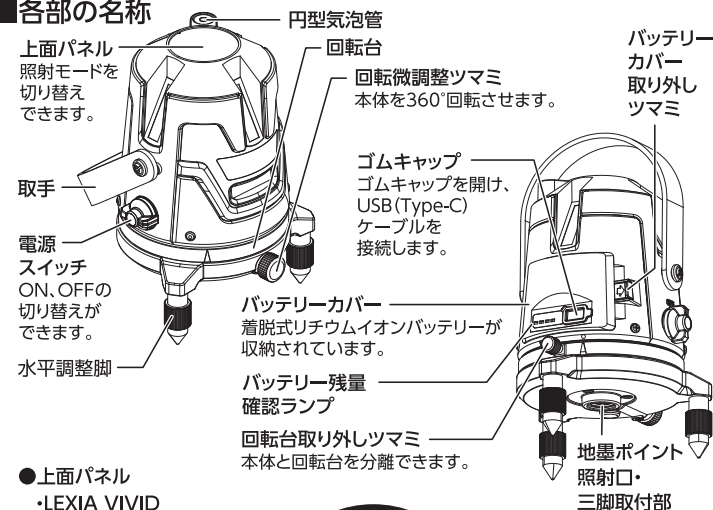
受光器の注意

- 受光器はシンのレーザーロボ専用のものを使用してください。それ以外には使用できません。また、レーザーラインの色を確認し、対応機種を受光器を使用してください。
- 受光器とレーザーロボをセットで使用する際は、レーザーロボの明るさを「中」にしてください。
- 受光距離が範囲外、またはレーザーロボのバッテリーの残量が少ないと誤作動を起こす恐れがあります。
- 受光窓が汚れていると誤作動を起こす恐れがあります。柔らかい布などでキレイに拭き取ってから使用してください。
- 落下などによる強い衝撃や振動を与えないでください。不具合の原因となります。
- 受光する際にレーザーラインを直接のぞかないでください。レーザーラインが目に入ると視力低下・失明を起こす恐れがあります。
- 横ラインに対しては受光器の本体を立てて、縦ラインに対しては本体を横にして使用してください。それ以外では正確な位置が出ません。
- 本体の垂直または水平が出ていない状態でケガキを行なうと、正確な位置が出ないので注意してください。
- 次の場合、レーザーラインの基準位置を正しく検知できないことがあります。
 - 直射日光や強い照明の下での使用
 - 窓ガラスや鏡など、高反射面の近くでの使用
 - 蛍光灯などの電磁波を発生する機器の近くでの使用
 - 受光窓が汚れたり濡れたままでの使用
 - 受光器とレーザーロボの距離が1.5m以内の使用(II Plus)
 - 受光器とレーザーロボの距離が2m以内の使用(自動追尾回転台用)
 - レーザーロボが傾いた状態(±3°以上)でレーザーラインが点滅時

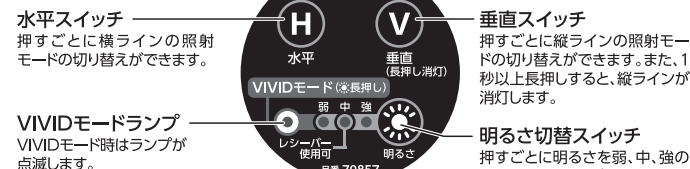
■対応機種

レーザーロボ LEXIA グリーン	レーザーロボ LEXIA レッド
品番 71501 受光器 レーザーレシーバー II Plus グリーン用 ホルダー付	品番 71920 受光器 レーザーレシーバー II Plus 高出力レッド用 ホルダー付
品番 69746 部品 受光器 レーザーレシーバー 自動追尾回転台用 グリーン ホルダー付	品番 69745 部品 受光器 レーザーレシーバー 自動追尾回転台用 レッド ホルダー付

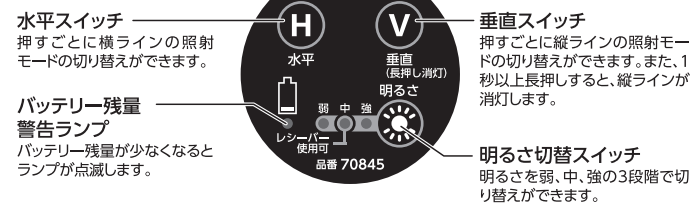
■各部の名称



●上面パネル ・LEXIA VIVID



・LEXIA



■付属品

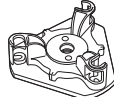
品番 82201

●アルミケース レーザーロボ用



品番 76768

●水平調整三脚アダプター



品番 76793

●レーザーメガネ
(レッドレーザーのみの
付属品となります。)



品番 76801

●充電アダプター USB Type-C

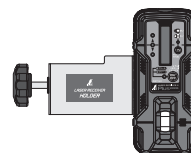
■別売品

品番 71501

●受光器 レーザーレーサー
II Plus グリーン用
ホルダー付
(グリーンレーザー用)

品番 71920

●受光器 レーザーレーサー
II Plus 高出力レッド用
ホルダー付
(レッドレーザー用)

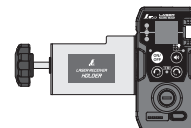


品番 69746

●受光器 レーザーレーサー
自動追尾回転台用
グリーンホルダー付
(グリーンレーザー用)

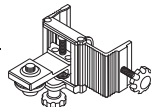
品番 69745

●受光器 レーザーレーサー
自動追尾回転台用
レッドホルダー付
(レッドレーザー用)



品番 76923

●軽天用ホルダー
上下可動式
レーザーロボ用



品番 69744

●自動追尾回転台
レーザーロボ LEXIA・
AR・E用



品番 76629

●三脚 ハンドル式
エレベーター A
軽量タイプ



品番 76827

●三脚 ハンドル式
エレベーター B
軽量 短脚
地墨タイプ



品番 76866

●三脚 ハンドル式
エレベーター C
軽量 強化タイプ



品番 76829

●三脚 ハンドル式
エレベーター D
3m 軽量
高所タイプ

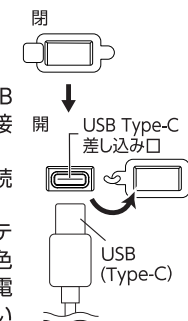


■ご使用の前に

必ず充電を行ってから使用してください。

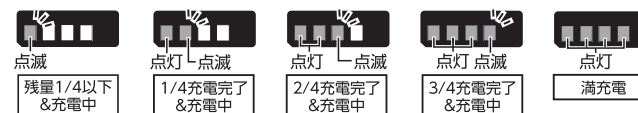
●着脱式リチウムイオンバッテリーの充電方法※

- ①バッテリーカバーのゴムキャップを開け、付属のUSB (Type-C) ケーブルをUSB Type-C差し込み口に接続します。
充電アダプターにUSB (Type-A) ケーブルを接続し、100Vコンセントに繋がります。
 - ②コンセントに繋ぐとバッテリー残量に応じて、バッテリーの側面にあるバッテリー残量確認ランプが青色に点滅します。全てのランプが青色に点灯すると充電完了です。充電時間の目安はバッテリー残量がない状態からグリーンは約2時間、レッドは2.5時間です。
- ・充電しながらの使用はバッテリーの劣化を早める恐れがあります。
・バッテリーは本体に付いていても、外していても充電が可能です。



●バッテリー残量確認ランプの見方

点滅(青)…充電中 点灯(青)…充電完了



●バッテリー残量確認ボタンの使用方法

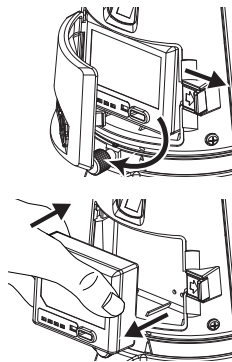
バッテリー本体についているバッテリー残量確認ボタンを押すと、バッテリー残量に応じて、バッテリー残量確認ランプが10秒間青色に点灯します。



バッテリー残量確認ボタン

●着脱式リチウムイオンバッテリーの交換方法

- ①本体の電源をOFFにします。
- ②バッテリーカバー取り外しツマミを矢印の方向にスライドさせてバッテリーカバーの固定を解除し、取り外します。
- ③本体からバッテリーを取り外し、代わりのバッテリーを本体に差し込みます。
- ④バッテリーカバーを本体に取り付け、バッテリーカバーをしっかりと押し込み、本体からバッテリーが落ちないことを確認してから使用してください。

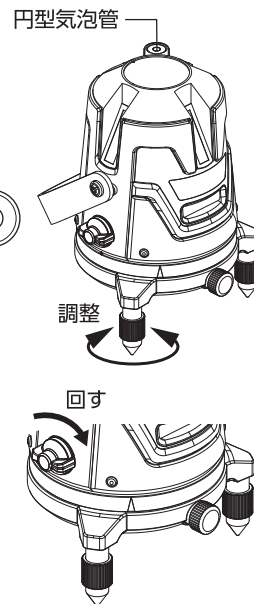


■使用方法

- ①円型気泡管の気泡が白い円内に入るように、水平調整脚で調整し、本体の水平出しを行ってください。
気泡全体が白い円内に入れば、円の中心でなくても自動補正機構が働きます。
自動補正範囲外では
1秒間隔でレーザー
ラインが点滅します。
- ②電源スイッチを回してONにしてください。
自動補正機構のロックが解除され、レーザーが照射されます。※
- ③上面パネルで、レーザー照射モードを選択してください。

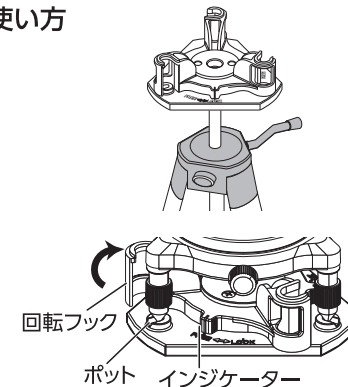
※レーザー照射モードはラインメモリー機能により、電源スイッチをONにするとOFFにした時の状態で照射されます。

※LEXIA VIVIDはVIVIDモード時のみラインメモリー機能が無効になります。VIVIDモードのまま電源スイッチを切り、再度電源を入れると中モード・横ラインのみで照射されます。

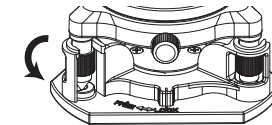


■水平調整三脚アダプターの使い方

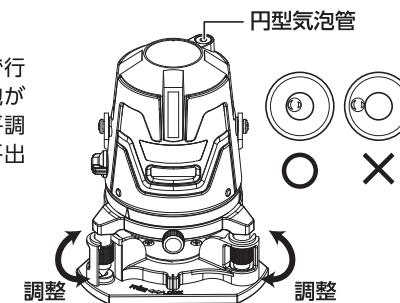
- ①水平調整三脚アダプターを三脚のネジに入れて回し、しっかり固定します。
- ②三脚を使用する場所、高さにセットします。
- ③水平調整三脚アダプターの回転フックを回転させ、インジケーターをFREEの位置に合わせます。
- ④ポットに本体の脚を乗せます。



- ⑤水平調整三脚アダプターの回転フックを回転させ、インジケーターをLOCKの位置に合わせます。
- ⑥カチッという音がして、回転フックが本体の脚を固定します。



- ⑦水平調整は、水平調整脚で行えます。円型気泡管の気泡が白い円内に入るように水平調整脚で調整し、本体の水平出しを行ってください。



■バッテリー残量警告機能(VIVIDを除く)

使用中に上面パネルのバッテリー残量警告ランプが点滅した場合はバッテリー残量が少ない状態ですので、リチウムイオンバッテリーの充電を行ってください(p.8「●着脱式リチウムイオンバッテリーの充電方法」を参照)。またレーザーラインの本数が少ない照射モードに切り替えるとしばらく使用できる場合があります。

●バッテリー残量警告ランプについて

点滅した場合でも、下記の時間は使用できます。

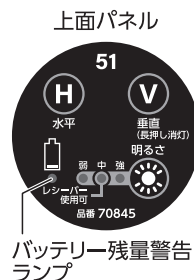
グリーンレーザー

明るさ	使用時間
弱	約30分
中	約30分
強	約30分

レッドレーザー

明るさ	使用時間
弱	約4時間
中	約3時間
強	約2時間

使用時間は目安です。



■受光器対応

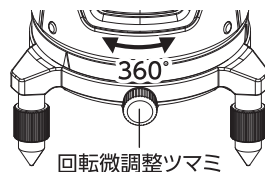
別売品の受光器(p.5「■対応機種」を参照)を使用することで、屋外などのレーザーラインが見えにくい場所でもレーザーラインの位置を確認することができます。受光器を使用する際は明るさのモードを「中」にしてください。

受光器の精度保証は最長20mまでです。ただし、作業環境、測定位置により受光可能距離は異なります。



■回転微調整機構

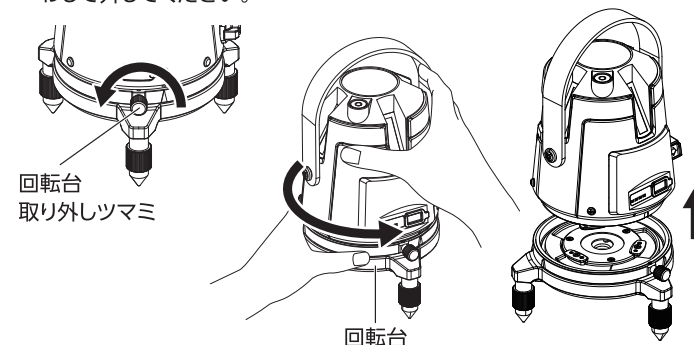
回転微調整ツマミをまわすことで、本体の角度を360°微調整できます。レーザーラインの照射位置を微調整する時に使用してください。



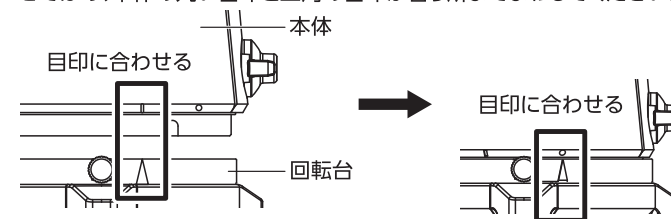
■回転台の取り外し・取り付け方法

低い所に照射する際は本体と回転台を外して使用できます。

- ①回転台取り外しツマミを回し、回転台を押さえて、本体を反時計回りにまわして外してください。



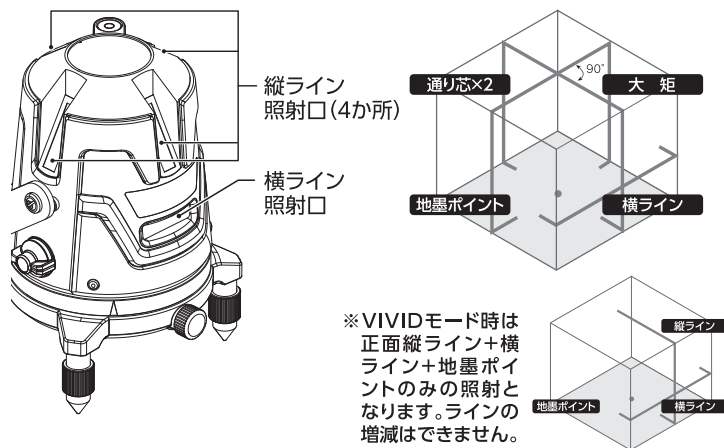
- ②取り付ける際は、下図を参照に回転台の三角の目印と本体の目印に合わせてはめ、本体の丸い目印と三角の目印が合う所までまわしてください。



- ③回転台取り外しツマミをまわし、しっかり取り付けてください。

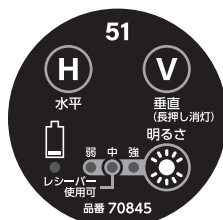
■レーザー照射モード

- レーザーロボ LEXIA VIVID 51 グリーン(品番70857)※
- レーザーロボ LEXIA 51 グリーン(品番70845)
- レーザーロボ LEXIA 51 レッド(品番70935)



●上面パネル

Ⓔ水平、Ⓕ垂直スイッチを押すことで、レーザー照射モードを切り替えられます。スイッチを押すたびに照射パターンが切り替わります。



Ⓔスイッチ

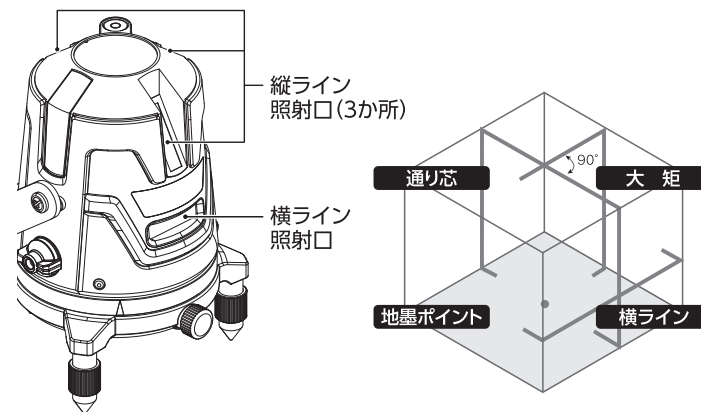
- 横ライン
- 消灯

Ⓕスイッチ

- 正面縦ライン+地墨ポイント
- 縦ライン×2本(大矩)+地墨ポイント
- 縦ライン×2本(通り芯)+地墨ポイント
- 縦ライン×4本+地墨ポイント
- 長押し 消灯

- レーザーロボ LEXIA 41 グリーン(品番70844)

- レーザーロボ LEXIA 41 レッド(品番70934)



●上面パネル

Ⓔ水平、Ⓕ垂直スイッチを押すことで、レーザー照射モードを切り替えられます。スイッチを押すたびに照射パターンが切り替わります。



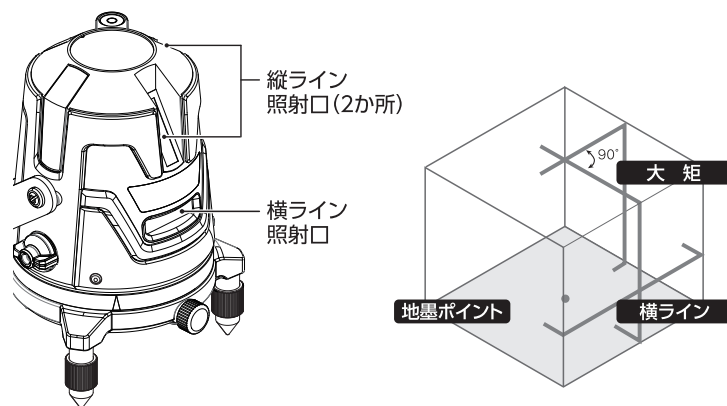
Ⓔスイッチ

- 横ライン
- 消灯

Ⓕスイッチ

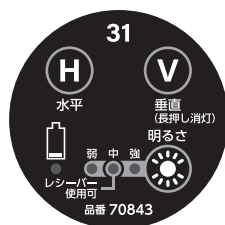
- 正面縦ライン+地墨ポイント
- 縦ライン×2本(大矩)+地墨ポイント
- 縦ライン×2本(通り芯)+地墨ポイント
- 縦ライン×3本+地墨ポイント
- 長押し 消灯

- レーザーロボ LEXIA 31 グリーン(品番70843)
- レーザーロボ LEXIA 31 レッド(品番70933)



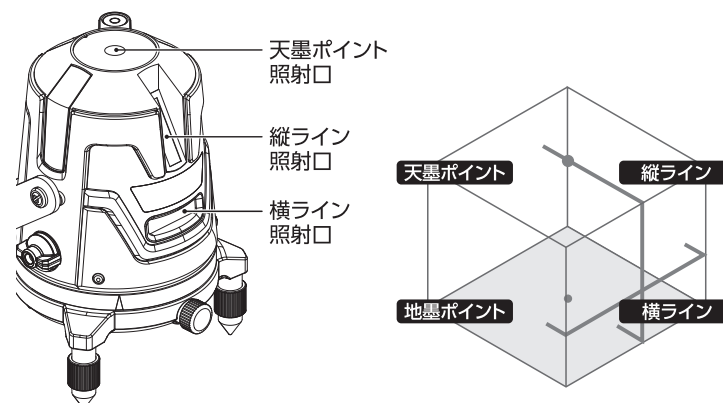
●上面パネル

Ⓜ水平、Ⓥ垂直スイッチを押すことで、レーザー照射モードを切り替えられます。スイッチを押すたびに照射パターンが切り替わります。



- Ⓜスイッチ
 - 横ライン
 - 消灯
- Ⓥスイッチ
 - 正面縦ライン+地墨ポイント
 - 縦ライン×2本(大矩)+地墨ポイント
 - 長押し 消灯

- レーザーロボ LEXIA 21P グリーン(品番70842)
- レーザーロボ LEXIA 21P レッド(品番70932)



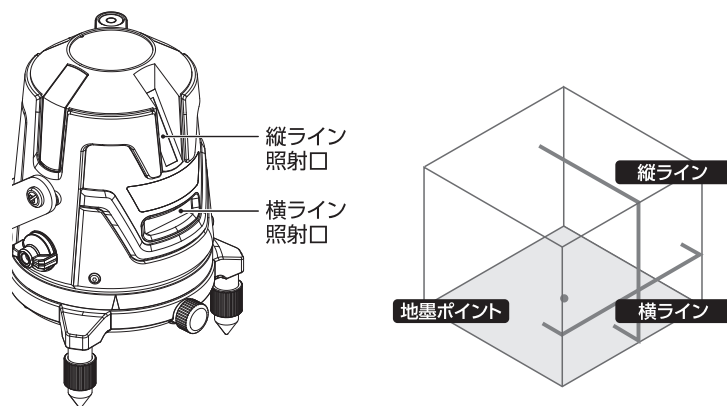
●上面パネル

Ⓜ水平、Ⓥ垂直スイッチを押すことで、レーザー照射モードを切り替えられます。スイッチを押すたびに照射パターンが切り替わります。



- Ⓜスイッチ
 - 横ライン
 - 消灯
- Ⓥスイッチ
 - 縦ライン+地墨ポイント
 - 縦ライン+天墨+地墨ポイント
 - 長押し 消灯

- レーザーロボ LEXIA 21 グリーン(品番70841)
- レーザーロボ LEXIA 21 レッド(品番70931)



●上面パネル

Ⓜ水平、Ⓜ垂直スイッチを押すことで、レーザー照射モードを切り替えられます。スイッチを押すたびに照射パターンが切り替わります。



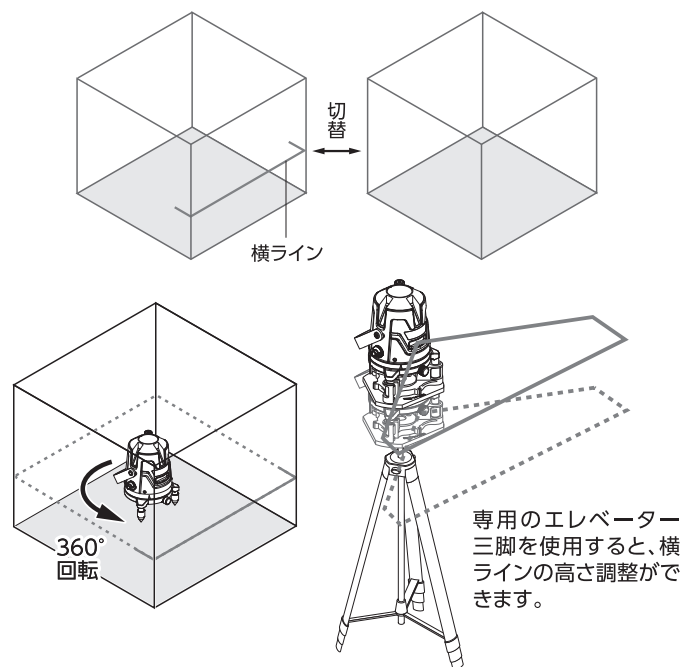
- Ⓜスイッチ
→横ライン
→消灯
- Ⓜスイッチ
→縦ライン+地墨ポイント
→長押し 消灯

■レーザー照射モードの使用方法

●Ⓜモード(全種共通)

- ①本体を墨出しする場所の床の上に置き、水平出しを行います。
- ②電源スイッチをONにすると横ラインが照射されます。[※]
- ③横ラインが照射されている状態で本体回転機構を利用することで、全周(360°)の水平が出せます。

Ⓜボタンで照射パターン切替

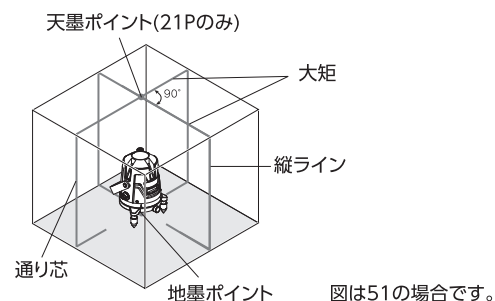


※レーザー照射モードはラインメモリー機能により、電源スイッチをONにするとOFFにした時の状態で照射されます。

※LEXIA VIVIDはVIVIDモード時のみラインメモリー機能が無効になります。VIVIDモードのまま電源スイッチを切り、再度電源を入れると中モード・横ラインのみで照射されます。

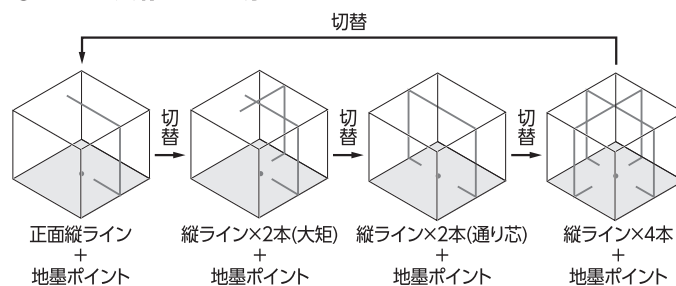
●⑦モード

- ①本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ②電源スイッチをONにすると縦ライン・地墨ポイントが照射されます。※
- ⑦スイッチを押すごとに縦ラインの照射モードを切り替えることができます。また⑦スイッチを1秒以上長押しすると、縦ラインが消灯します。



●51の場合

⑦ボタンで照射パターン切替

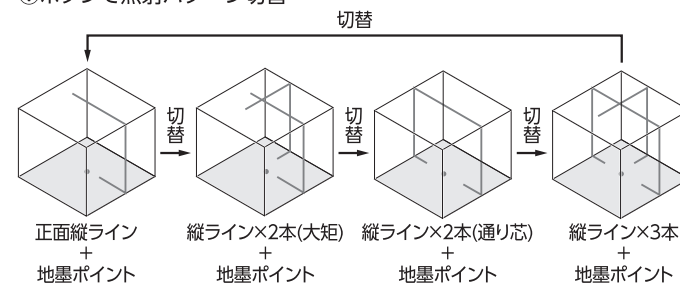


※レーザー照射モードはラインメモリー機能により、電源スイッチをONにするとOFFにした時の状態で照射されます。

※LEXIA VIVIDはVIVIDモード時のみラインメモリー機能が無効になります。VIVIDモードのまま電源スイッチを切り、再度電源を入れたと中モード・横ラインのみで照射されます。

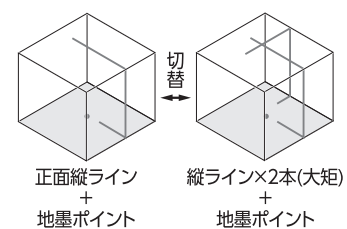
●41の場合

⑦ボタンで照射パターン切替



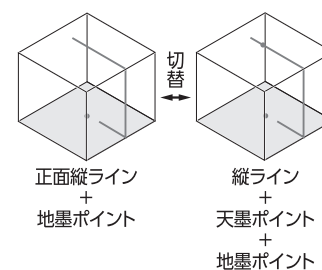
●31の場合

⑦ボタンで照射パターン切替



●21Pの場合

⑦ボタンで照射パターン切替



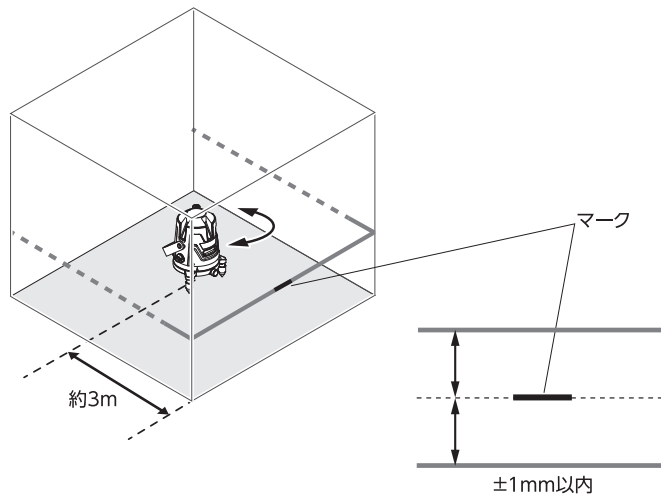
●21の場合



■使用前の点検(精度確認)

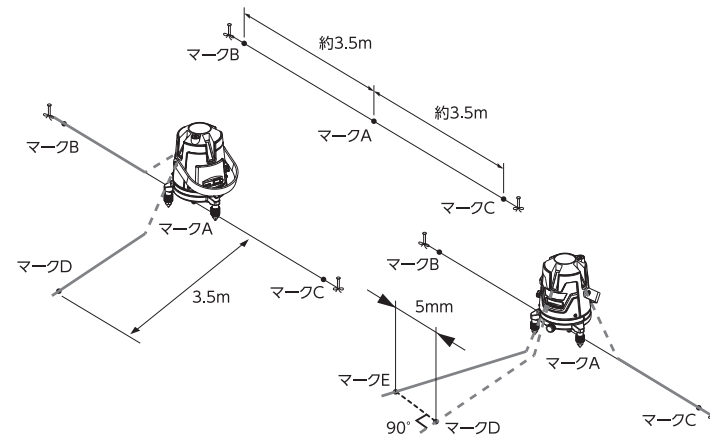
●横ライン(ろく)の点検(図は51の場合)

- ①振動のない、できるだけ平らな場所を選びます。
- ②本体を壁面から約3mの所に置き、本体の水平出しを行います。
- ③電源スイッチをONにして上面パネルのⓂスイッチで横ラインを照射させます。縦ラインが照射されている場合はⓋスイッチを1秒以上長押しし、消灯させてください。
- ④壁面に向けて照射し、横ラインの中心付近に合わせてマークを付けます。
- ⑤本体を回して、横ラインの高さとマークの位置にズレがないかを確認します。
- ⑥ズレが±1mm以内であれば許容範囲内です。
許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です。シンワサービスセンター宛に依頼してください。



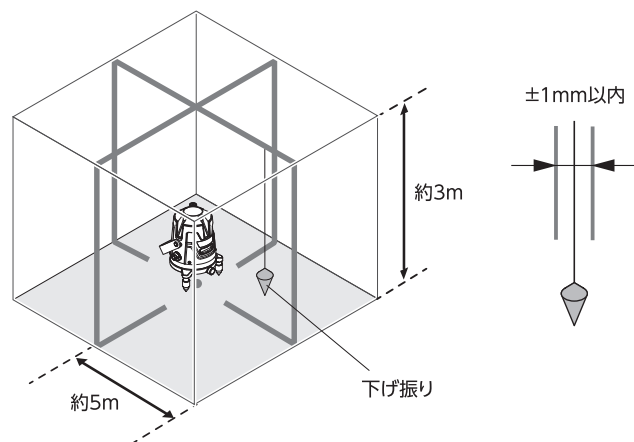
●大矩の点検(51、41、31)

- ①振動のない、できるだけ平らな場所で約8mの水糸を床に張ります。
- ②水糸の中心をマークAとし、マークAから両端に約3.5mの2箇所をマークB、マークCとします。
- ③本体を床に置き、本体の水平出しを行います。
- ④電源スイッチをONにし、上面パネルのⓋスイッチを押し、大矩を照射させます。
- ⑤地墨ポイントとマークA、正面縦ラインとマークBが重なるように設置します。
- ⑥左側縦ラインの3.5mの位置をマークDとします。
- ⑦本体を回転させて、左側縦ラインがマークCに重なるように設置します。
- ⑧正面縦ラインの3.5mの位置をマークEとし、マークDとマークEのズレが5mm以内であれば許容範囲内です。
- ⑨他の大矩についても同様の点検を行います。
許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です。シンワサービスセンター宛に依頼してください。



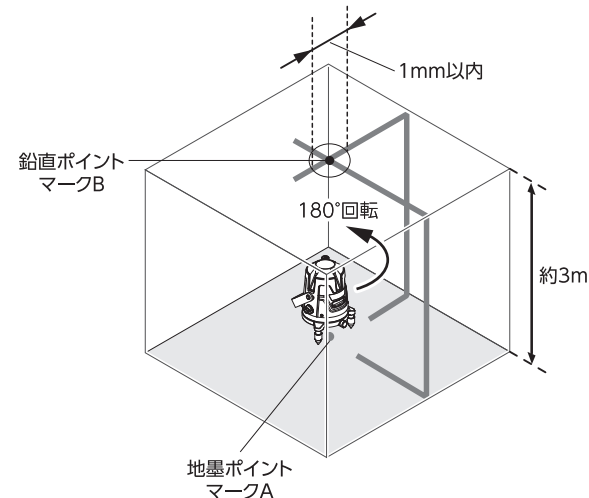
●縦ライン(たち)の点検(図は51の場合)

- ①天井が2～3m程度の高さで振動のない、できるだけ平らな場所を選びます。
- ②本体を壁面から約5mの所に置き、水平出しを行います。
- ③お手持ちの下げ振りを壁面近くの天井から吊り下げます。
- ④電源スイッチをONにし、上面パネルの⑦スイッチを押し、照射モードを全て照射するパターンに設定します。
- ⑤縦ラインを壁面に向けて照射し、下げ振りの糸に合わせます。
- ⑥下げ振りの糸と縦ラインにズレがないかを確認します。
- ⑦ズレが±1mm以内であれば許容範囲内です。他の縦ラインについても同様の点検を行います。
許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です。シンワサービスセンター宛に依頼してください。



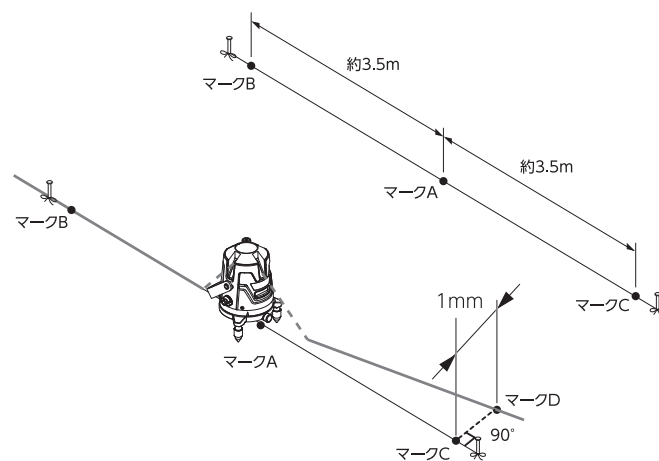
●上下鉛直の点検(51、41、31、21P)

- ①天井の高さが約3mで振動のない、できるだけ平らな場所を選びます。
- ②本体を床の上に置き、本体の水平出しを行います。
- ③電源スイッチをONにし、上面パネルの⑦スイッチを押し、大矩を照射させます。
- ④地墨ポイントAと鉛直ポイントB(上部大矩のクロスした点)にマークを付けます。
- ⑤本体を180°回転して地墨ポイントをマークAの位置に合わせます。
- ⑥回転後の鉛直ポイントとマークBとのズレが1mm以内であれば許容範囲内です。
許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です。シンワサービスセンター宛に依頼してください。



- ①振動のない、できるだけ平らな場所で約8mの水糸を床に張ります。
- ②水糸の中心をマークAとし、マークAから両端に約3.5mの2箇所をマークB、マークCとします。
- ③本体を床の上に置き、本体の水平出しを行います。
- ④電源スイッチをONにし、上面パネルの④スイッチを押し、通り芯を照射させます。
- ⑤地墨ポイントとマークA、縦ラインとマークBが重なるように設置します。
- ⑥マークC側に照射されている縦ラインの位置(下図に示す位置)をマークDとし、マークCとマークDとのズレが1mm以内であれば許容範囲内です。
- ⑦他の通り芯についても同様の点検を行います。

許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要ですので、シンワサービスセンター宛に依頼してください。



■故障かな?と思ったら

修理の依頼をされる前に、下記の表を確認してください。下記の方法でも解決できない場合は保証書・ユーザー登録シートに記載の「保証規定（無償修理および盗難・火災補償）」を確認のうえ、シンワサービスセンター宛に連絡してください。

トラブル状況	確認事項
レーザーラインが薄い、出ない	●リチウムイオンバッテリーの充電はされているか？ →充電をしてください。 ●レーザーロボの照射口は汚れていないか？ →照射口を柔らかい布などでキレイに拭いてください。
レーザーラインが点滅する	●傾いた場所に設置していないか？ →円型気泡管の気泡が白い円内にあるか確認してください。 ●リチウムイオンバッテリーの充電はされているか？ →充電をしてください。
レーザーロボの充電ができない	●本体にUSB (Type-C) ケーブルは接続されているか？ ●充電アダプターにUSB (Type-A) ケーブルは接続されているか？ →しっかりと差し込んでください。 ●充電可能回数 (500回) を超えていないか？ →別売のリチウムイオンバッテリーに交換してください。
衝撃を与えてしまった	p.21「 ■使用前の点検 (精度確認) 」を行ってください。
受光器が反応しない	●レーザーロボに対応した機種を使用しているか？ →p.5「■対応機種」を参照してください。 ●他メーカーの受光器を使っていないか？ →シンの受光器を使用してください。 ●受光器の電池はあるか？(II Plus) →新しい電池を入れてください。 ●受光器のバッテリーの充電はされているか？(自動追尾回転台用) →充電をしてください。 ●レーザーロボの明るさは「中」になっているか？ →上面パネルの明るさ切替スイッチを押して「中」に合わせてください。
受光器がレーザーラインの ないところで反応する	●受光窓が汚れていないか？ →受光窓を柔らかい布などできれいに拭いてください。 ●他メーカーのレーザー墨出し器を使っていないか？ →シンのレーザーロボを使用してください。 ●周囲に窓ガラスや金属などの反射物はないか？ →反射物を移動させるか、布などで覆い隠してください。 ●レーザーロボとの距離が近くないか？ →1.5m以上離して使用してください(II Plus)。 →2m以上離して使用してください(自動追尾回転台用)。

■仕様(グリーン)

品 番		70857	70845	70844
品 名		VIVID 51 グリーン	51 グリーン	41 グリーン
光 源		可視半導体レーザー		
出 力		5mW以下 (クラス3R JIS C6802:2018)	1mW以下(クラス2 JIS C6802:2018)	
波 長		515～530nm(緑)、 地墨ポイント645～655nm(赤)		
到達点距離精度		縦・横ライン7.5mで±1mm		
鉛直点精度		3mで±1mm		
直角精度		90°±0.03°		
通り芯精度		7.5mで±1mm		
ライン出射角		縦ライン 約130°／横ライン 約120°		
ライン光巾 (LEXIA:明るさ3段階) (VIVID:明るさ4段階)	5m	弱:約1.5mm／中:約1.8mm／ 強:約2mm／VIVID:約3mm	弱:約1.5mm／中:約1.8mm／強:約2mm	
	7.5m	弱:約2mm／中:約2.5mm／ 強:約3mm／VIVID:約4mm	弱:約2mm／中:約2.5mm／強:約3mm	
自動補正範囲		±3°		
傾斜時警告※1		自動補正範囲を超えるとレーザーラインが点滅(約1秒間隔)		
回転微調整範囲		360°		
制動方式		振り子+磁気ダンパー方式		
電 源		着脱式リチウムイオンバッテリー		
バッテリー容量		1,600mAh		
連続使用 可能時間※2	Ⓜモード(中)	約21時間		
	フル照射モード(中)	約3.5時間	約4.5時間	
	Ⓜ+Ⓜモード(VIVID)	約3時間	—	
バッテリー残量警告		—	使用中にバッテリー残量警告ランプが点滅	
防塵・防水性能※3		IP54		
本体サイズ		173×128×128mm		
製品質量		1,200g		
三脚取付ねじ		5/8インチ		

※1 照射しているラインが点滅します。自動補正範囲内に戻ると元の状態に戻ります。

※2 20℃の環境で使用した場合です。また使用環境や充電回数などで変動します。連続使用時間は弱の場合、中のおよそ200%、強の場合、中のおよそ70%ですが、あくまで目安となります。

※3 防塵性能:粉塵が内部に侵入することを防止します。若干の粉塵の侵入があっても正常な運転を阻害しません。防水性能:いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けません。

品番	70843		70842		70841	
品名	31 グリーン		21P グリーン		21 グリーン	
光源	可視半導体レーザー					
出力	1mW以下(クラス2 JIS C6802:2018)					
波長	515～530nm(緑)、地墨ポイント645～655nm(赤)、 天墨ポイント515～530nm(緑、21Pのみ)					
到達点距離精度	縦・横ライン7.5mで±1mm					
鉛直点精度	3mで±1mm				—	
直角精度	90°±0.03°				—	
通り芯精度	—					
ライン出射角	縦ライン 約130°／横ライン 約120°					
ライン光巾 (明るさ3段階)	5m	弱:約1.5mm／中:約1.8mm／強:約2mm				
	7.5m	弱:約2mm／中:約2.5mm／強:約3mm				
自動補正範囲	±3°					
傾斜時警告※1	自動補正範囲を超えるとレーザーラインが点滅(約1秒間隔)					
回転微調整範囲	360°					
制動方式	振り子+磁気ダンパー方式					
電源	着脱式リチウムイオンバッテリー					
バッテリー容量	1,600mAh					
連続使用 可能時間※2	Ⓜモード(中)	約21時間				
	フル照射モード(中)	約5.5時間	約7時間	約8.5時間		
バッテリー残量警告	使用中にバッテリー残量警告ランプが点滅					
防塵・防水性能※3	IP54					
本体サイズ	173×128×128mm					
製品質量	1,200g					
三脚取付ねじ	5/8インチ					

■仕様(レッド)

品番	70935		70934	
品名	51 レッド		41 レッド	
光源	可視半導体レーザー			
出力	1mW以下(クラス2 JIS C6802:2018)			
波長	630～645nm、地墨ポイント645～655nm			
到達点距離精度	縦・横ライン7.5mで±1mm			
鉛直点精度	3mで±1mm			
直角精度	90°±0.03°			
通り芯精度	7.5mで±1mm			
ライン出射角	縦ライン 約130°／横ライン 約120°			
ライン光巾 (明るさ3段階)	5m	弱:約1.5mm／中:約1.8mm／強:約2mm		
	7.5m	弱:約2mm／中:約2.5mm／強:約3mm		
自動補正範囲	±3°			
傾斜時警告※1	自動補正範囲を超えるとレーザーラインが点滅(約1秒間隔)			
回転微調整範囲	360°			
制動方式	振り子+磁気ダンパー方式			
電源	着脱式リチウムイオンバッテリー			
バッテリー容量	3,200mAh			
連続使用 可能時間※2	④モード(中)	約40時間		約9時間
	フル照射モード(中)	約7.5時間		
バッテリー残量警告	使用中にバッテリー残量警告ランプが点滅			
防塵・防水性能※3	IP54			
本体サイズ	173×128×128mm			
製品質量	1,200g			
三脚取付ねじ	5/8インチ			

※1 照射しているラインが点滅します。自動補正範囲内に戻ると元の状態に戻ります。
 ※2 20℃の環境で使用した場合です。また使用環境や充電回数などで変動します。連続使用時間は弱の場合、中のおよそ200%、強の場合、中のおよそ70%ですが、あくまで目安となります。
 ※3 防塵性能:粉塵が内部に侵入することを防止します。若干の粉塵の侵入があっても正常な運転を阻害しません。防水性能:いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けません。

品番	70933		70932	70931
品名	31 レッド		21P レッド	21 レッド
光源	可視半導体レーザー			
出力	1mW以下(クラス2 JIS C6802:2018)			
波長	630～645nm、地墨ポイント645～655nm、 天墨ポイント645～655nm(21Pのみ)			
到達点距離精度	縦・横ライン7.5mで±1mm			
鉛直点精度	3mで±1mm			—
直角精度	90°±0.03°	—		
通り芯精度	—			
ライン出射角	縦ライン 約130°／横ライン 約120°			
ライン光巾 (明るさ3段階)	5m	弱:約1.5mm／中:約1.8mm／強:約2mm		
	7.5m	弱:約2mm／中:約2.5mm／強:約3mm		
自動補正範囲	±3°			
傾斜時警告※1	自動補正範囲を超えるとレーザーラインが点滅(約1秒間隔)			
回転微調整範囲	360°			
制動方式	振り子+磁気ダンパー方式			
電源	着脱式リチウムイオンバッテリー			
バッテリー容量	3,200mAh			
連続使用 可能時間※2	④モード(中)	約40時間		
	フル照射モード(中)	約13時間	約15時間	約17時間
バッテリー残量警告	使用中にバッテリー残量警告ランプが点滅			
防塵・防水性能※3	IP54			
本体サイズ	173×128×128mm			
製品質量	1,200g			
三脚取付ねじ	5/8インチ			

■修理およびメンテナンス

シンワ「レーザーロボ LEXIA」は精密機器です。精度維持および末永くご使用いただくために、シンワサービスセンター宛に年1回の定期点検(有料)をご依頼くださることをおすすめします。

Shinwa Service System 【シンワサービスシステム】

保証書・ユーザー登録シートで事前にユーザー登録(無料)をしていただきますと、メンテナンスご依頼の時に迅速に対応できます。短納期によるメンテナンスサービス体制で原則として4営業日以内に弊社から発送いたします。

また、ご購入日から1年間は、万一盗難や火災に遭っても5,000円*の自己負担で新品をお届けします。

※ユーザー登録済みの製品1点の場合の金額です。レーザー本体や受光器、自動追尾回転台など複数台の補償が必要な場合は、それぞれの製品に対して各5,000円の合計金額がお客様の自己負担額となります。



⚠ 修理や検査は保証書・ユーザー登録シートをご用意の上、お問い合わせください。

⚠ 受光器をお持ちの場合は、受光器と一緒に送付してください。

下記のお電話かFAXまたはお問い合わせフォームより受け付けております。

レーザー・光学機器専用お問い合わせ先

〒959-1276 新潟県燕市小池3485 シンワサービスセンター

TEL 0120-305143 **FAX 0120-305144**

受付時間 AM8:30~PM5:00 土日祝日除く

お問い合わせ
フォーム
(Web申し込み)

<https://www.shinwasokutei.co.jp/support-top/laser/>



QRコードを読み取り「メールでのお問い合わせ」よりお問い合わせください。お急ぎの際は、お手数ですがお電話にてお問い合わせください。

レーザー・光学機器の部品保有期間は廃番後3年間となります。それ以降は在庫がなくなり次第、もしくは廃番後5年経過したもののから提供終了とさせていただきますのでご了承願います。

品番 69739

自動追尾回転台 受光器セット LEXIA グリーン用 アルミケース付

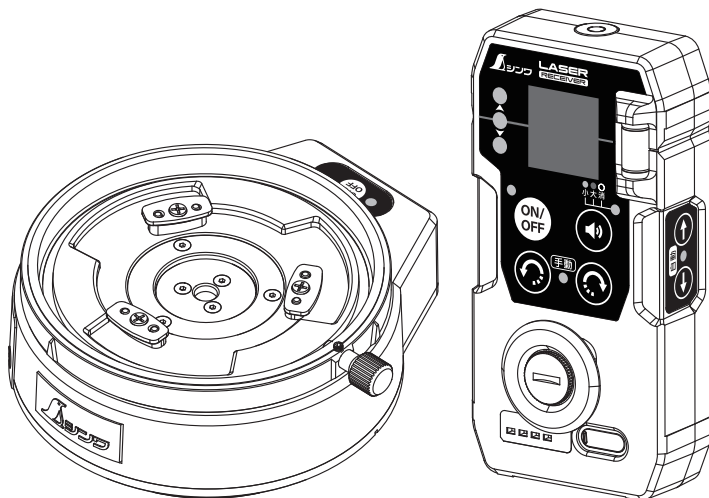


自動追尾回転台 受光器セット

LEXIA グリーン用 アルミケース付 (品番 69739)

LEXIA レッド用 アルミケース付 (品番 69738)

取扱説明書



この取扱説明書は必ず保管してください。

はじめに

シンワ「自動追尾回転台 受光器セット LEXIA グリーン用／LEXIA レッド用 アルミケース付」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をお使いいただく前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書は読み終わった後も大切に保管してください。

本製品のユーザー登録をする場合は、製品梱包に同梱されている「保証規定（無償修理および盗難・火災補償）」をよくお読みのうえ、「保証書・ユーザー登録シート」にお買い上げ店名の記入があることを確認し、必要事項を記入して、シンワサービスセンターへFAXもしくはコピーを郵送してください。また、p.15の「レーザー・光学機器専用お問い合わせ先」のQRコードを読み取っていただくとWebでのご登録もできます。

「保証規定（無償修理および盗難・火災補償）」と「保証書・ユーザー登録シート（お客様（控）」）は大切に保管してください。ご不明な点がございましたら、シンワサービスセンターまでお問い合わせください。

■用途

- 正確な墨出し作業に。
- 1人作業や省力化に。
- 明るい現場や離れた距離でレーザーラインが見えにくい場所での墨出しに。

■特長

- 専用受光器で決めた位置に向けて回転し、自動でレーザーラインを合わせること、2人での作業が必要な地墨合わせ作業を1人で行うことができます。
- 自動追尾回転台はレーザーロボ LEXIAシリーズと接続可能なため、後付けができます。
- 自動追尾モードとリモコン操作モードの切り替えがなく、スムーズに作業ができます。
- 受光器は付属のホルダー EASY-LOCKに取り付けて持ち運びができます。取付コマは着脱可能です。
- 自動追尾回転台と受光器はUSB Type-Cで繰り返し充電ができます。
- 防塵・防水性能 保護等級IP54です。
- 受光器は付属のホルダーをお使いいただくと、柱などに取り付けられます。

△ 注意

- 用途以外には使用しないでください。
- 本製品はシンワのレーザーロボ専用です。それ以外には使用できません。また、レーザーラインの色を確認し、対応機種（p.14「■対応機種」参照）の受光器を使用してください。
- 受光器とレーザーロボ LEXIAをセットで使用する際は、レーザーロボ LEXIAの明るさを「中」にしてください。
- 受光距離範囲外または、レーザーロボの充電が消耗していると誤作動を起こす恐れがあります。
- 受光窓が汚れていると誤作動を起こす恐れがあります。柔らかい布などできれいに拭き取ってから使用してください。
- 使用前に必ずレーザーロボ本体の精度確認をしてください。
- 落下などによる強い衝撃や振動を与えないでください。不具合の原因となります。
- 本製品の取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
- 受光する際にレーザーラインを直接のぞかないでください。レーザーラインが目に入ると視力低下・失明を起こす恐れがあります。
- 横ラインに対しては受光器の本体を立てて、縦ラインに対しては本体を横にして使用してください。それ以外では正確な位置が出ません。
- 本体の垂直または水平が出ていない状態でケガキを行なうと、正確な位置が出ないので注意してください。
- 次の場合、レーザーラインの基準位置を正しく検知できないことがあります。
 - 直射日光や強い照明の下での使用
 - 窓ガラスや鏡など、高反射面の近くでの使用
 - 蛍光灯などの電磁波を発生する機器の近くでの使用
 - 受光窓が汚れたり濡れたままでの使用
 - 受光器とレーザーロボの距離が2m以内での使用
 - レーザーロボが傾いた状態（±3°以上）でレーザーラインが点滅時
- 汚れた場合は柔らかい布で拭いてください。シンナーなどの揮発油やアルコール類で拭かないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる場所や高温（40℃以上）になる場所
 - 磁気を帯びた場所 ○振動の多い場所 ○子供の手の届く場所
- USBケーブルを接続しない場合は必ずゴムキャップを閉めてください。
- 連続使用時間や充電時間は使用環境や充電回数などで変動します。
- 充電しながらの使用は劣化を早める恐れがあります。
- 充電中バッテリーが熱くなることがありますので、注意してください。
- バッテリーには寿命があります。充電と使用を繰り返すうちに、一回の使用時間が徐々に短くなります。一回の使用時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われます。バッテリーの交換は有償で承ります。弊社サービスセンターにお問い合わせください。
- 日本国外では使用しないでください。
- 充電完了後は速やかに充電プラグを抜き、充電器をコンセントから外してください。
- 使用後は必ずアルミケースに入れてください。
- 長期間使用しないまま保管すると自然放電でバッテリー残量が減ることがあります。

△ 注 意

- 外部接続端子やコネクタにほこりや汚れが付いている場合は、乾いた布などできれいに拭き取ってください。
- 自動追尾回転台を無理に回すと内部の構造が破損するため、取り付けて手で回す時や微調整回転させるときは回転台の機構を使うようにしてください。
- ケガキの精度は「①レーザー墨出し器の精度+②受光器の受光精度+③作業者の墨つけ精度」で決まります。したがって、レーザー墨出し器の精度よりも大きくなります。
- レーザーラインが受光器に90度で入射するようにしてください。傾いた状態で受光した場合、墨つけ精度が大きくなります。受光器両側面のケガキガイドにレーザーラインが重なっていることを確認してください。
- 自動追尾中は次の様な行為をしないでください。
 - 受光器を動かしたり、上下反転させる
 - レーザー墨出し器本体に触る
 - 受光窓をふさいだり、ラインを遮断したりする
- 自動追尾は20mまで可能ですが、環境によって反応しにくい場合があります。
- なるべく水平なところにレーザー墨出し器を置いてください。傾いたところに置かれている場合、自動追尾完了後に中心受光LED(青)が継続して点灯しないことがあります。
- レーザーラインの反射によって正しく受光しない状態で自動追尾が完了する恐れがあります。周囲に反射するものがないことを確認してから作業を行ってください。
- 蛍光灯や強い照明に反応することがあります。
- レーザーラインの性質・危険性について十分理解した上で使用してください。
- 使用済のリチウムイオンバッテリーはリサイクルすることができます。廃棄の際は分解せずにリサイクル業者へお持ちいただくか、自治体の指示に従ってリサイクルにご協力いただきますようお願いいたします。
- 弊社は、本製品に関連して生じたお客様および第三者の結果的損害、付随的損害、逸失利益などの間接損害について、それらの予見または予見可能性の有無にかかわらず一切の責任を負いません。ただし、弊社に故意または重過失が存する場合またはお客様が消費者契約法上の消費者に該当する場合は、この限りではありません。本製品の使用に関し弊社が損害賠償責任を負う場合、本製品の代金相当額を限度額として賠償責任を負うものとします。



Li-ion

無線の周波数について

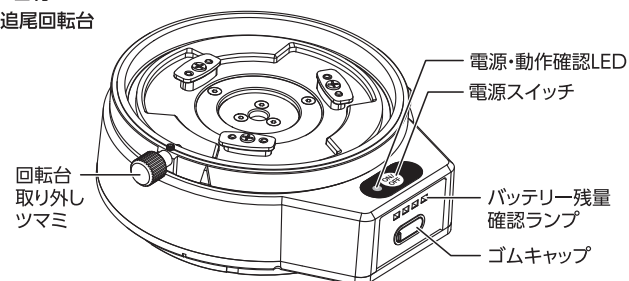
本製品が使用している周波数は2.4GHz帯です。この周波数は他の無線機器でも使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するために下記の近くでは注意して使用してください。

- 産業・科学・医療用機器など
- 他の同種無線局
- 工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
- 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- IEEE802.11g/b/n無線LAN機器

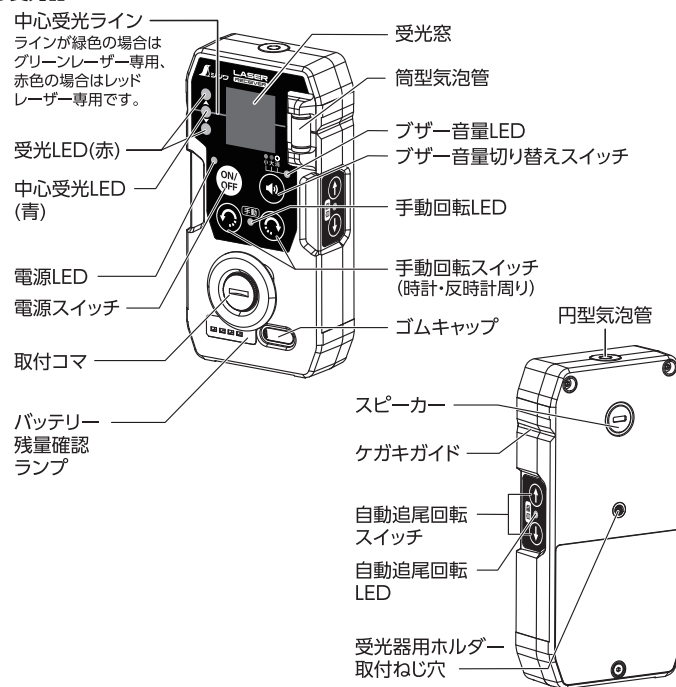
また、本製品と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、使用を停止(電波の発射を停止)してください。

■各部の名称

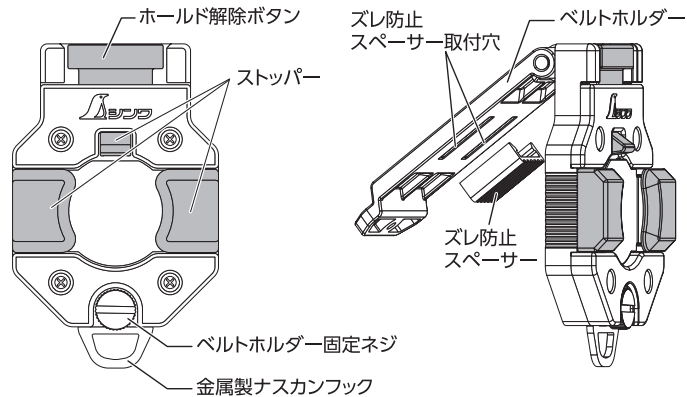
●自動追尾回転台



●受光器



●ホルダー EASY-LOCK

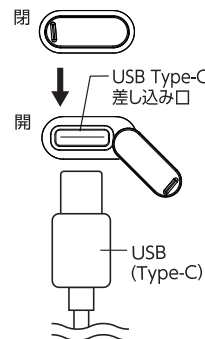


■ご使用の前に

自動追尾回転台と受光器は必ず充電を行ってから使用してください。

●リチウムイオンバッテリーの充電方法*

- ① ゴムキャップを開け、付属のUSB (Type-C) ケーブルをUSB Type-C差し込み口に接続します。充電アダプターにUSB (Type-A) ケーブルを接続し、100Vコンセントに繋ぎます。
- ② コンセントに繋ぐとバッテリー残量に応じて、バッテリー残量確認ランプが青色に点滅します。全てのランプが青色に点灯すると充電完了です。
充電時間の目安はバッテリー残量がない状態から自動追尾回転台は約3時間、受光器は約2時間です。
※ 充電しながらのご使用はバッテリーの劣化を早める恐れがあります。



●バッテリー残量確認ランプの見方

点滅(青)…充電中 点灯(青)…充電完了



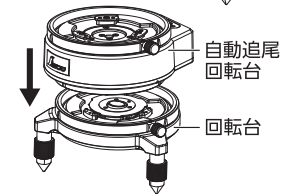
■使用方法(自動追尾回転台)

●回転台の取り外し・自動追尾回転台の取り付け方法

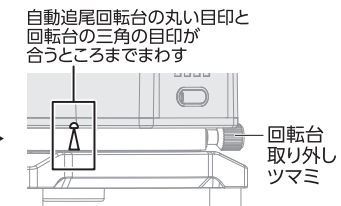
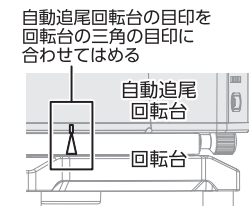
- ① 回転台取り外しツマミを回し、回転台を押さえて、本体を反時計回りにまわして外してください。



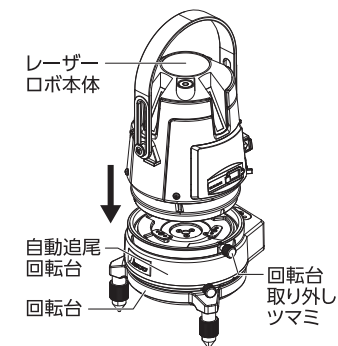
- ② 回転台に自動追尾回転台を載せて時計回りにまわします。取り付けの際は下図を参考にしてください。



- ③ 回転台取り外しツマミを締めて自動追尾回転台と回転台を固定します。



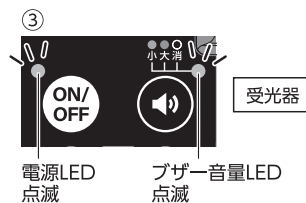
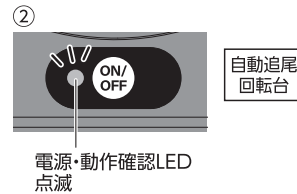
- ④ 自動追尾回転台にレーザーロボ本体を載せ、回転台取り外しツマミを締めてレーザーロボ本体と自動追尾回転台と固定します。



●自動追尾回転台と受光器のペアリング方法

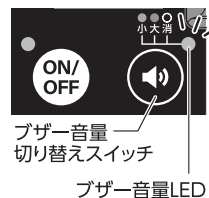
ペアリングは屋内で周囲に他のレーザー墨出し器や受光器がない場所で行ってください。ペアリングは1台まで記憶できます。

- ①自動追尾回転台と受光器の電源がOFFになっていることを確認してください。
- ②自動追尾回転台の電源スイッチを押すと電源・動作確認LEDが点滅します。点灯に変わったら準備完了です。
- ③受光器の電源スイッチとブザー音量切り替えスイッチを同時に長押しすると電源LEDとブザー音量LEDが交互に点滅します。
- ④自動追尾回転台の電源スイッチを2回押すと受光器のブザーが2回(音量 大→小)鳴り、ペアリングが完了します。ペアリング状態が20秒続いて完了しない場合は自動で電源がOFFになります。その場合は最初からやり直してください。



●受光器のブザー音量切り替え

- ①受光器の電源スイッチを押します。
- ②ブザー音量切り替えスイッチを押すごとに音量 小(LED:緑)→大(LED:赤)→消音(LED:無)に切り替わります。電源を入れた時は音量 小の状態になっています。



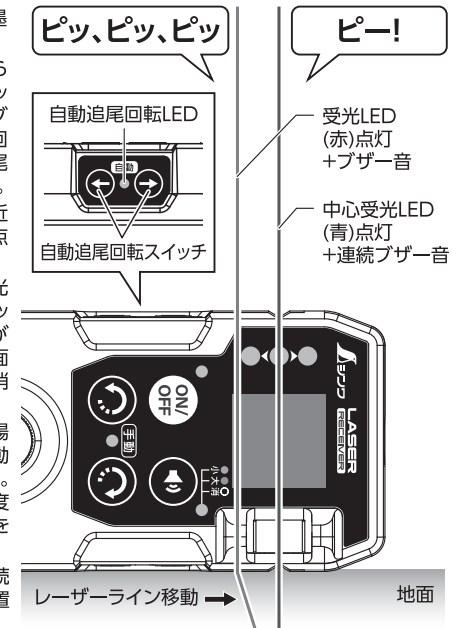
●手動での回転方法

- ①レーザーロボの電源をONにします。
- ②自動追尾回転台の電源スイッチを押します。電源がONになると初期化動作が始まり、電源・動作確認LEDが点滅します(点滅中は触らないでください)。点灯に変わったら準備完了です。
- ③受光器の電源スイッチを押します(全てのLEDが1秒程度点灯)。
- ④受光器の手動回転スイッチを押すと、自動追尾回転台が時計回り、または反時計回りに回転します。押すと動き、再度押すと止まるか確認してから使用してください。



●自動追尾での回転方法(地墨合わせを見る場合)

- ①レーザーロボの電源をONにします。縦ラインを照射させ、明るさのモードを「中」にします。下部ポイントを基点(地墨)に合わせます。
- ②自動追尾回転台の電源スイッチを押します。電源がONになると初期化動作が始まり、電源・動作確認LEDが点滅します(点滅中は触らないでください)。点灯に変わったら準備完了です。
- ③受光器の電源スイッチを押します(全てのLEDが1秒程度点灯)。
- ④受光器を合わせたい地墨ライン位置に置きます。
- ⑤受光器側面の左右どちらかの自動追尾回転スイッチを押すと「ピピッ」とブザー音が鳴り、自動追尾回転LEDが点灯し、自動追尾回転台が回転し始めます。
- ⑥レーザーラインが中心に近づく、受光LED(赤)が点灯しブザー音が鳴ります。
- ⑦中心に合うと中心受光LED(青)が点灯し、「ピーッピーッ」と連続ブザー音が2回鳴った後、受光器側面の自動追尾回転LEDが消灯したら追尾完了です。30秒以内に完了しない場合はエラーと判断し、自動追尾回転台は停止します。中止する場合はもう一度自動追尾回転スイッチを押します。
- ⑧中心受光LED(青)が継続して点灯していれば位置合わせが完了です。
- ⑨作業が終了したら、自動追尾回転台と受光器の電源スイッチを長押しし、電源を切ります。自動追尾回転台の電源を切ると電源・動作確認LEDが消灯します。赤色に点灯している場合は待機モード中です。



- ・追尾回転中は手動回転ボタンが無効になります。
- ・消音時にはブザー音が鳴りません(ブザー音量LEDの点灯・消灯で状態を判断できます)。

■使用方法(受光器)

●ブザー音と受光LEDについて

受光する位置によってブザー音の鳴り方が違うため、離れた場所からでもレーザーラインと中心の位置関係が分かります。ブザー音の鳴り方に合わせてレーザーラインをゆっくりと中心へ移動してください。

中心より上の場合

受光LEDが赤色に点灯します。

ピピピピピ

中心の場合

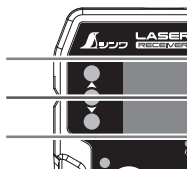
中心受光LEDが青色に点灯します。

ピー!

中心より下の場合

受光LEDが赤色に点灯します。

ピッ、ピッ、ピッ



●横ラインを見る場合

- ①受光窓を立てた状態でレーザーロボに向けて、レーザーラインが照射されていると思われる高さで垂直に上下させます(円型気泡管で垂直を確認しながら作業してください)。
- ②受光窓でレーザーラインを受光すると、受光LED(赤)が点灯します。ブザー音 小(または大)の時はブザー音が鳴ります。
- ③レーザーラインが中心受光ラインに重なると、受光LED(赤)は消灯し、中心受光LED(青)が点灯します。ブザー音 小(または大)の時は連続ブザー音が鳴ります。

円型気泡管



赤い円の中心に気泡が入るようにしてください。

●縦ラインを見る場合

- ①受光窓を横にした状態でレーザーロボに向けて、レーザーラインが照射されていると思われる位置で水平に動かします(筒型気泡管で水平を確認しながら作業してください)。
- ②受光窓でレーザーラインを受光すると、受光LED(赤)が点灯します。ブザー音 小(または大)の時はブザー音が鳴ります。
- ③ゆっくりと受光器を左右に動かします。レーザーラインが中心受光ラインに重なると、受光LED(赤)は消灯し、中心受光LED(青)が点灯します。ブザー音 小(または大)の時は連続ブザー音が鳴ります。

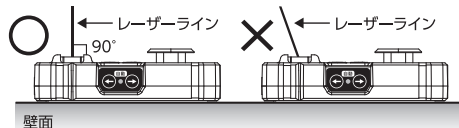
筒型気泡管



黒い線の中心に気泡が入るようにしてください。

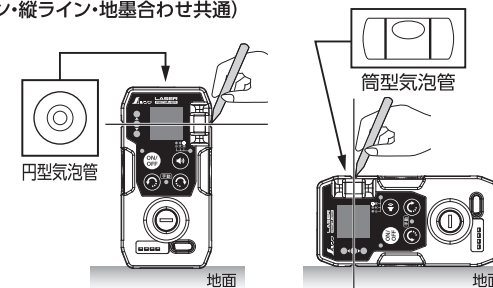
●受光角度について(縦ライン・地墨合わせ共通)

レーザーラインは受光窓に対して、垂直に当ててください。



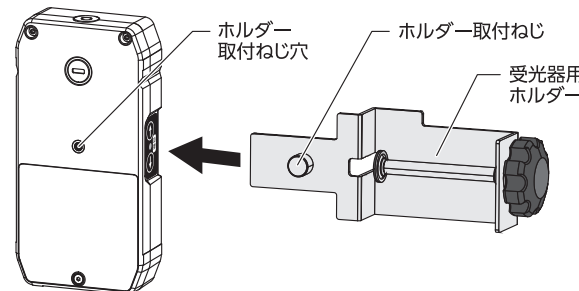
●ケガキ作業(横ライン・縦ライン・地墨合わせ共通)

中心受光LED(青)が点灯したところで本体が水平であることを再度確認してください。レーザーロボを固定して受光器をレーザーラインの通る位置で確認し、ケガキガイドに沿ってケガキを行ってください。



●受光器用ホルダーの取り付け方法

- ①受光器裏面のホルダー取付ねじ穴に受光器用ホルダーの取付ねじを合わせます。
- ②ホルダー取付ねじを締めて取り付けます。



■使用方法(ホルダー EASY-LOCK)

●使用する前に、以下2点を確認してください。

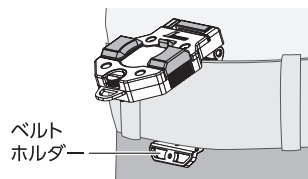
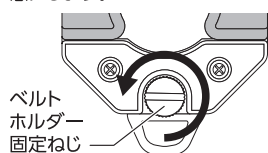
- ①受光器に、EASY-LOCK取付コマがしっかりと固定されているか。
- ②ホルダーや取付コマに摩耗や破損がなく確実に装着できるか。

△ 注意

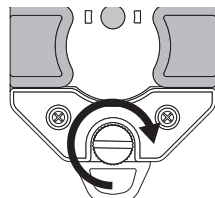
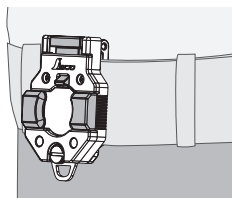
- 用途以外には使用しないでください。●記載のない分解や改造はしないでください。
- 幼児の手の届かない所に保管してください。●受光器をホルダーに装着した際、ストッパーが取付コマをしっかりと固定して外れないか確認してください。装着されるとカチッと音がします。●高所で使用する場合は、落下による事故を防止するため、落下防止コードを取り付けて使用してください。

●ベルトへの装着方法

- ①ベルトホルダー固定ねじを矢印の方向に回して、ベルトホルダーが開く状態にします。
- ②取り付けたいベルトの裏側にベルトホルダーを通します。



- ③本体を閉じ、ベルトホルダー固定ねじを最後まで締めて固定します。装着後、ホルダーが脱落しないか確認してください。



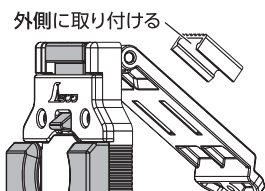
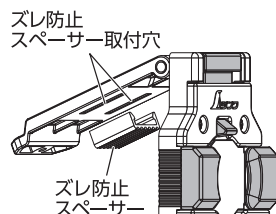
●ズレ防止スペーサーの使用方法

ベルトの厚みや固定力の好みに応じて、ズレ防止スペーサーの取り付け場所を変更し、固定力を変更できます。

・固定力:低→ズレ防止スペーサーを取り付けない。

・固定力:中→ズレ防止スペーサーをズレ防止スペーサー取付穴の内側に取付ける。

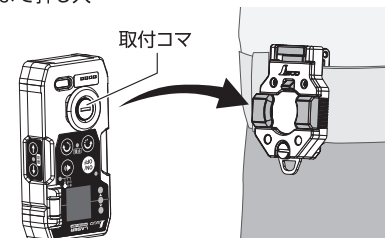
・固定力:高→ズレ防止スペーサーをズレ防止スペーサー取付穴の外側に取付ける。



●ホルダーへの取り付け方法

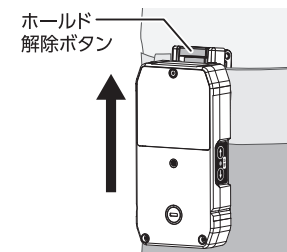
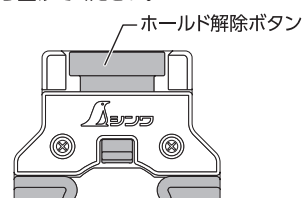
ホルダーをベルトに装着し、取付コマを正面方向*からカチッと音がするまで押し入れます。

※上方向からも装着可能です。



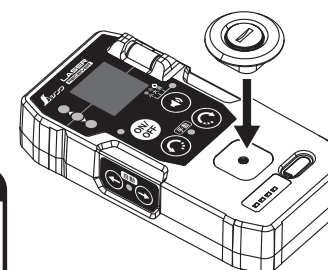
●ホルダーからの取り外し方法

ホールド解除ボタンを押しながら上方向に持ち上げてください。



●取付コマの取り外し・取り付け方法

- ①コインなどでねじを回し、取付コマを外します。
- ②取り付ける際は窪みに合わせてねじを締めて取り付けます。



⚠ 注意

ホルダー EASY-LOCKに付属している取付コマはコンベックス用のため、受光器には対応しておりません。

■仕様

機 種	自動追尾回転台	受光器
受光距離※1	2～20m	
通信可能距離	1～20m	
中心受光巾	－	±1mm
最大回転速度 (360°)	16秒	－
電 源	リチウムイオンバッテリー (USB Type-Cで繰り返し充電)	
バッテリー容量	2,000mAh	1,600mAh
連続使用回数※2	約1,500回	約3,500回
オートパワーオフ	－	無操作・無受光状態で約7分後
防塵・防水性能※3	IP54	
周波数	2.4GHz	
本体サイズ	108×46×122mm	128×64×36mm
製品質量	460g	180g
付属品	受光器用ホルダー、USB (Type-C) ケーブル、ホルダー EASY-LOCK、アルミケース	

※1 受光距離の上限20mは参考数値です。ご使用になる作業環境や測定位置によりさらに長距離の受光が可能です。

※2 20℃の環境で自動追尾機能を使用した場合です。また使用環境や充電回数などで変動します。無操作状態でも受光している間は継続して使用できます。

※3 防塵性能:粉塵が内部に侵入することを防止します。若干の粉塵の侵入があっても正常な運転を阻害しません。防水性能:いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けません。

ホルダー EASY-LOCK	
対応可能ベルト	巾60mm以内、厚さ4mm以内
材 質	本体:ABS樹脂、ポリカーボネート樹脂、 ポリアセタール樹脂 ねじ:鉄、ステンレス フック、軸ピン、パネ:ステンレス ナット:鉄、真ちゅう
本体サイズ	95×60×29mm
製品質量	70g
付属品	コンベックス用取付コマ、ねじ、ズレ防止スペーサー

■対応機種

グリーンレーザー専用 品番 69739 自動追尾回転台 受光器セット LEXIA グリーン用 アルミケース付	レッドレーザー専用 品番 69738 自動追尾回転台 受光器セット LEXIA レッド用 アルミケース付
・レーザーロボ LEXIA-E AR グリーン ・レーザーロボ LEXIA-E グリーン ・レーザーロボ LEXIA AR グリーン ・レーザーロボ LEXIA グリーン	・レーザーロボ LEXIA AR レッド ・レーザーロボ LEXIA レッド

■故障かな?と思ったら

修理の依頼をされる前に、下記の表を確認してください。下記の方法でも解決できない場合は保証書・ユーザー登録シートに記載の「保証規定 (無償修理および盗難・火災補償)」を確認のうえ、シンワサービスセンター宛に連絡してください。

トラブル状況	確認事項
電源が入らない	●リチウムイオンバッテリーの充電はされているか? →充電をしてください。
受光の反応をしない	●リチウムイオンバッテリーの充電はされているか? →充電をしてください。 ●レーザーロボ、自動追尾回転台の電源は入っているか? →電源が入っているか確認してください。 ●レーザーロボは対応機種を使用しているか? →「■対応機種」を参照してください。 ●他メーカーの受光器を使っていないか? →シンワの受光器を使用してください。 ●レーザーロボ LEXIAの明るさは「中」になっているか? →上面パネルの明るさ切替スイッチを押して「中」に合わせてください。
レーザーのないところで反応する	●受光窓が汚れていないか? →受光器の受光窓を柔らかい布などでキレイに拭いてください。 ●他メーカーのレーザー墨出し器を使っていないか? →シンワのレーザーロボを使用してください。 ●周囲に窓ガラスや金属などの反射物はないか? →反射物を移動させるか、布などで覆い隠してから使用してください。 ●レーザーロボとの距離が近くないか? →2m以上離して使用してください。

■修理およびメンテナンス

シンワ「自動追尾回転台 受光器セット LEXIA グリーン用／LEXIA レッド用 アルミケース付」は精密機器です。精度維持および末永くご使用いただくために、シンワサービスセンター宛に年1回の定期点検(有料)をご依頼くださることをおすすめします。

Shinwa Service System 【シンワサービスシステム】

保証書・ユーザー登録シートで事前にユーザー登録(無料)をしていただきますと、メンテナンスご依頼の時に迅速に対応できます。短納期によるメンテナンスサービス体制で原則として4営業日以内に弊社から発送いたします。

また、ご購入日から1年間は、万一盗難や火災に遭っても5,000円*の自己負担で新品をお届けします。

※ユーザー登録済みの製品1点の場合の金額です。レーザー本体や受光器、自動追尾回転台など複数台の補償が必要な場合は、それぞれの製品に対して各5,000円の合計金額がお客様の自己負担額となります。



⚠ 修理や検査は保証書・ユーザー登録シートをご用意の上、お問い合わせください。

⚠ レーザーロボと自動追尾回転台、受光器は3点一緒に送付してください。

下記のお電話かFAXまたはお問い合わせフォームより受け付けております。

レーザー・光学機器専用お問い合わせ先

〒959-1276 新潟県燕市小池3485 シンワサービスセンター

TEL 0120-305143 **FAX 0120-305144**

受付時間 AM8:30～PM5:00 土日祝日除く

お問い合わせ
フォーム
(Web申し込み)

<https://www.shinwasokutei.co.jp/support-top/laser/>



QRコードを読み取り「メールでのお問い合わせ」よりお問い合わせください。お急ぎの際は、お手数ですがお電話にてお問い合わせください。

レーザー・光学機器の部品保有期間は廃番後3年間となります。それ以降は在庫がなくなり次第、もしくは廃番後5年経過したもののから提供終了とさせていただきますのでご了承願います。